

1 基本方針

平成28年度は、第5次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）の初年度に当たり、総合計画に掲げる市の将来像の実現に向け、各施策の取組を着実に推進していくためのスタートとなる大変重要な年度となります。

平成28年度の本市の財政は、歳入の根幹である市税収入が、個人市民税や固定資産税などの伸びにより、前年度と比べ増収になる見込みですが、高齢化の急速な進行や生産年齢人口の減少、地域活力の低下などへの対応が喫緊の課題となっており、依然として財源不足を地方交付税や臨時財政対策債などの依存財源に頼らざるを得ない状況です。

限られた予算を有効に活用するため、特に、既存事業については、これまでの成果を厳しく検証した上で、選択と集中の観点を持って、事業の優先化を図り、存廃を含めた大胆な見直しを断行するなどして、予算編成を行いました。

平成28年度は、将来を見据えた先行投資として、農業大学校移転後の跡地活用やその周辺地域を活用した魅力ある地域づくりを推進します。また、進行する高齢化への対策として、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、教育の充実に取り組みます。

市の将来像「鶴ヶ島は 元気にする～明日につながる活力のまち 支え合う安心のまち～」の実現に向け、「健やかで安心できるまち」「活力に満ちたまち」「快適に暮らせるまち」「人を育むまち」「将来を見すえた市政運営」の推進を図り、各分野の事業を実施していきます。

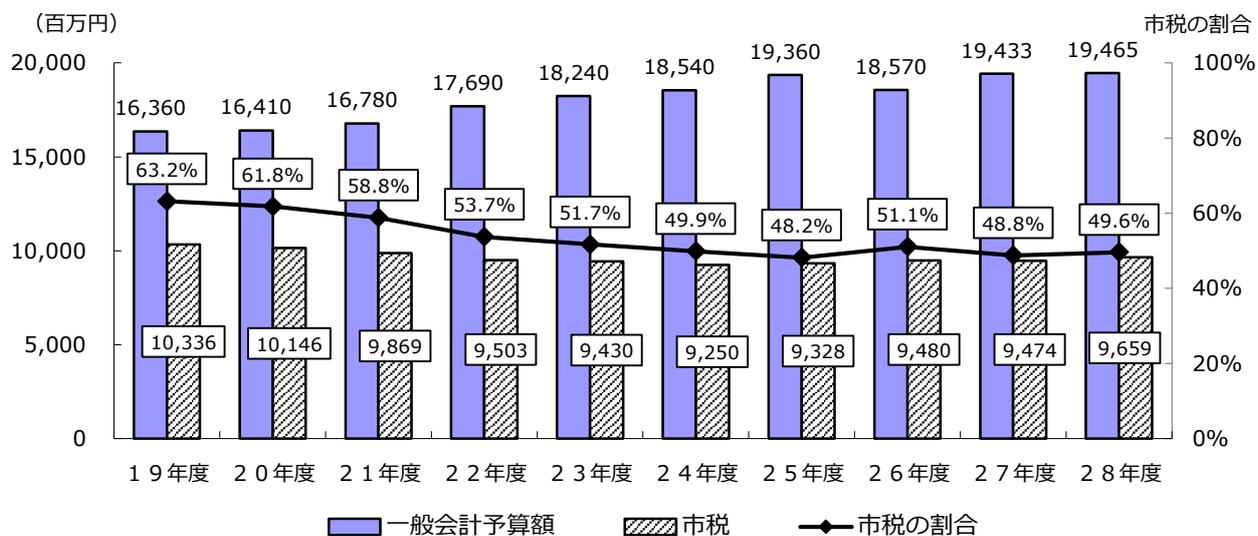
2 予算規模

(単位 千円)

会 計 名	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	比較増減		
			増減額	増減率	
一 般 会 計	19,465,000	19,433,278	31,722	0.2 %	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	8,733,243	8,697,834	35,409	0.4 %
	後 期 高 齢 者 医 療	590,866	529,715	61,151	11.5 %
	介 護 保 険	3,755,300	3,297,601	457,699	13.9 %
	一 本 松 土 地 区 画 整 理 事 業	383,847	320,375	63,472	19.8 %
	若 葉 駅 西 口 土 地 区 画 整 理 事 業	346,137	314,312	31,825	10.1 %
	合 計	13,809,393	13,159,837	649,556	4.9 %
全 会 計 合 計	33,274,393	32,593,115	681,278	2.1 %	
全 会 計 純 計 ※	31,717,790	31,148,597	569,193	1.8 %	

※全会計を合わせた市全体の予算規模については、実質的な予算規模を表すため、全会計で相互にやりとりする重複部分を除いた純計で表しています。

一般会計予算額及び市税の推移



【一般会計の主な増減要因】

増要因

- ふるさと振興発信事業
- 市債元金償還金
- 図書館運営事業
- 障害者自立支援給付等事業

減要因

- 小・中学校体育館非構造部材耐震化事業（工事）
- 寄附によるまちづくり基金積立金
- 一本松地区地区計画住環境整備事業
- 図書館フロント業務等委託事業

3 一部事務組合負担金

(単位 千円)

一部事務組合名	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	比較増減	
			増減額	増減率
広域静苑組合	12,610	15,209	△ 2,599	△ 17.1 %
坂戸、鶴ヶ島水道企業団	1,110	1,220	△ 110	△ 9.0 %
埼玉西部環境保全組合	709,213	705,582	3,631	0.5 %
坂戸地区衛生組合	47,700	52,580	△ 4,880	△ 9.3 %
坂戸、鶴ヶ島下水道組合 ※大谷川浸水対策事業を含む	563,091	560,946	2,145	0.4 %
坂戸・鶴ヶ島消防組合	965,220	950,527	14,693	1.5 %
合 計	2,298,944	2,286,064	12,880	0.6 %